



【2023年・夏期開園期間】4/29(祝)～11/3(祝) ※期間中の休園日はありません
 【開園時間】午前9:30～午後5:15 (最終入園は午後4:00まで)
 ※10/16(月)～11/3(祝)は午前9:30～午後4:30 (最終入園は午後4:00まで)

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
 動物図書館
 ☎0166-36-1104

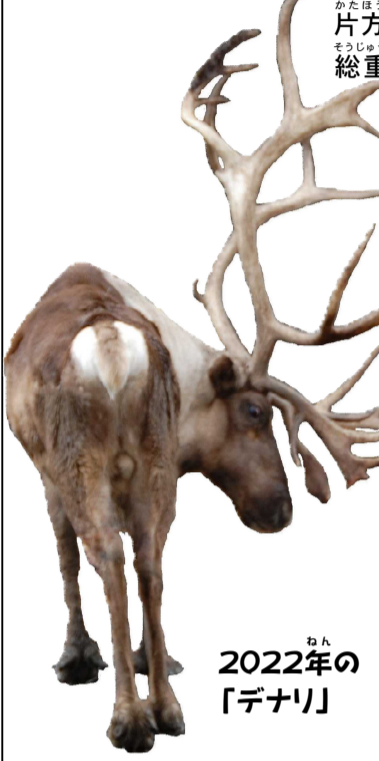
昨年のクリスマス前に落角し、約9か月かけてここまで大きくなった「デナリ」のツノ。繁殖期にメスをめぐる他のオスとの闘争にも使われるツノは、鋭く伸び、硬くて重たい武器となります。

片方のツノの重さは約5kg。総重量約10kgのカブトとなります！

ただ、この大きなオスのトナカイのツノは、クリスマス前には抜け落ちます。

ちなみに「デナリ」は2014年生まれで来年で10歳になります。昨年のツノと比べると、枝分かれの数が少なく見えますが、昨年よりは大きく見えますね。

まだまだ立派なオス「デナリ」。メスの「麻生」との繁殖も期待されています。



2022年の「デナリ」

【正面】



ツノからぶら下がっているのは、ツノを覆っていた毛皮です。

【横から】



頭の前方にも後方にも大きく湾曲してはえています。※エゾシカのツノは、後方にしか伸びません

トナカイのオス

「デナリ」ツノが完成しました！

トナカイのオスのツノが完成したということは、繁殖期に入った合図。「秋」一番乗りは、トナカイの「デナリ」のようです！ですが、この立派なツノを観察できるのは12月中旬まで。年内には、このツノは抜け落ちます。【9/9撮影】



【市長賞・幼児の部】



【市長賞・小学校低学年の部】

第55回旭川市旭山動物園 児童動物画コンクールの 入選作品展示会が開催中！

7/1～8/25で作品を募集していた、「第55回旭川市旭山動物園児童動物画コンクール」の表彰式が9/24に行われました。このコンクールの入選作品展示会が、正門近くにある「いこいの広場休憩所」で開催中。夏期開園最終日の11/3(祝)まで展示していますので、ぜひ見に来てくださいね。

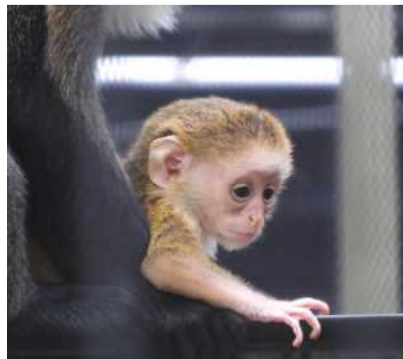
「いこいの広場休憩所」で
 11/3(祝)まで開催中！



【市長賞・小学校高学年の部】

ブラッザゲノンの「モモ」が出産しました！

9/2、ブラッザゲノンの「モモ」が出産しました(オス・メスは不明)。今回で4年連続の出産となり、生まれた仔には3頭の兄弟がいます。ぜひそれぞれの成長の様子を観察してみてくださいね。【9/12撮影】



収穫の秋。食べることは、生きるうえで一番大切なこと！先日、キアゲハの幼虫がニンジン、ブラスズメバチはアキアカネを、ヤマガラはイチイの実を食べていましたし、エゾリスはドングリを土に埋めていました。虫も鳥もほ乳類も、そして植物も、みんな何かを食べて(栄養を摂取して)生きています。旭山動物園の「もぐもぐタイム」では、その動物が食べている物だけでなく、食べ方、食べるため・食べられないための体のしくみや能力、そして、その動物がおかれている環境や問題もお伝えしています。いろんな生きものの「食べること・食べられること」をぜひ観察しに来てくださいね。「食べること」の大切さがきっとわかるはずですよ。



インドクジャクのヒナが 孵化しました！

9/10と11日で、インドクジャクが2年ぶりに自然孵化しました。ヒナは2羽で、元気に母クジャクのあとを追いかけて、何かをついばんだりしています。クジャクのヒナはカモ類のヒナと同じで、生まれてすぐ歩くことができ、成長が早い鳥です。冬期は観察できなくなるので、ヒナの姿を見たい方はなるべく早めに観察しに来てくださいね。【9/12撮影】